

授業科目	精神保健福祉の原理 I				実務家教員担当科目	○	
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期
担当教員	梶原 浩介						
授業概要	<p>本講義では、精神保健福祉士が国家資格化される以前からの精神医学ソーシャルワークの発展と継承を踏まえ、精神保健福祉士の専門性を確立する上で、基盤となる精神保健福祉に関する法律や制度の変化、そして、歴史を学ぶ過程のなかで「なぜ精神保健福祉士が必要となったのか」といった福祉専門職としての存在意義についても教授する。また、精神保健福祉士の視点や考え方、行動について学び、誰もがメンタルヘルス(こころの健康)を保ち、また不調を改善して自分の意思に基づいた主体的な生活を送れるようなソーシャルワーク実践について、実務家教員として事例や福祉教材等を活用して受講する学生に提供することで、精神保健福祉士(メンタルヘルスソーシャルワーカー)としての考え方や価値等を伝える。その際、視聴覚教材の視聴や事例検討、学生同士のグループディスカッションなどを通じて理解を深めることとする。</p>						
授業形態	講義・演習		授業方法	基本、講義形式の授業を実施します。一部、テーマに基づいてグループワーク、Google フォーム 等の ICT を活用した自主学習を取り入れます。			
学生が達成すべき行動目標							
標準的 レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「障害者」に対する思想や障害者の社会的立場の変遷から、障害者福祉の基本的枠組み(理念・視点・関係性)について理解する。 2. 精神保健福祉士が対象とする「精神障害者」の定義とその障害特性を構造的に理解するとともに、精神障害者の生活実態について学ぶ。 3. 精神疾患や精神障害をもつ当事者の社会的立場や処遇内容の変遷を踏まえ、それに対する問題意識をもつ価値観を体得する。 4. 精神障害者へのかかわりについて、精神医学ソーシャルワーカーが構築してきた固有の価値を学び、精神保健福祉士の存在意義を理解して職業的アイデンティティの基礎を築く。 5. 現在の精神保健福祉士の基本的枠組み(理念・視点・関係性)と倫理綱領に基づく職責について理解する。 6. 精神保健福祉士を規定する法律と倫理綱領を把握し、求められる機能や役割を理解する。 7. 近年の精神保健福祉士の動向を踏まえ、精神保健福祉士の職域と業務特性を理解する。 						
理想的 レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「障害者」に対する思想や障害者の社会的立場の変遷から、障害者福祉の基本的枠組み(理念・視点・関係性)について説明できる。 2. 精神保健福祉士が対象とする「精神障害者」の定義とその障害特性を構造的に理解するとともに、精神障害者の生活実態について説明できる。 3. 精神疾患や精神障害をもつ当事者の社会的立場や処遇内容の変遷を踏まえ、それに対する問題意識をもつ価値観を説明できる。 4. 精神障害者へのかかわりについて、精神医学ソーシャルワーカーが構築してきた固有の価値を学び、精神保健福祉士の存在意義を理解して職業的アイデンティティの基礎を説明できる。 						
評価方法・評価割合							
評価方法	評価割合(数値)			備考			
試験	80%						
小テスト							
レポート	10%						

発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他					10%						
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	WE21303J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 （時間）	
・授業で示された文献などを読み、興味や関心、疑問点、授業外で調べたこと等をノートにまとめる。										4	
授業計画											
第1回	オリエンテーション -こころの健康課題と精神保健福祉士の仕事をイメージしよう-										
第2回	障害者福祉の理念と歴史的展開① -障害の捉え方と障害者福祉の理念-										
第3回	障害者福祉の理念と歴史的展開② -精神障害者福祉の歴史的展開-										
第4回	精神障害と精神障害者の概念① -精神障害者の定義と障害特性、ICF-										
第5回	精神障害と精神障害者の概念② その1 -精神障害の理解と支援にかかわる新たな潮流-										
第6回	精神障害と精神障害者の概念② その2 -精神障害の理解と支援にかかわる新たな潮流-										
第7回	精神障害者の排除と障壁をめぐる歴史と構造① -諸外国の歴史-										
第8回	精神障害者の排除と障壁をめぐる歴史と構造② -日本の歴史-										
第9回	精神障害者の排除と障壁をめぐる歴史と構造③ -社会的障壁とその克服の取り組み-										
第10回	精神障害者の生活特性① -精神科医療における生活の影響、家族の状況-										
第11回	精神障害者の生活特性② -精神障害者の社会生活の実際と新たな課題-										
第12回	精神保健福祉の原理① -原理が培われた過程、精神保健福祉士による価値・原理、視野や視点-										
第13回	精神保健福祉の原理② -原理が培われた過程、精神保健福祉士による価値・原理、視野や視点-										
第14回	精神保健福祉の原理③ -原理が培われた過程、精神保健福祉士による価値・原理、視野や視点-										
第15回	精神保健福祉の原理④										

	-全体のまとめ-
テキスト	最新 精神保健福祉士養成講座5「精神保健福祉の原理」 中央法規 ISBN：978-4-8058-8256-6
参考図書・教材 ／データベース・ 雑誌等の 紹介	・参考文献、資料等は講義の際に適宜、情報提供します。
課題に対するフィードバックの方法	・授業中、テーマに基づいてグループワークで検討した内容に基づき、授業資料等を用いて振り返りをします。また、Google フォーム 等の ICT を活用した自主学習に対しては、回答例を提示します。
学生へのメッセージ・コメント	精神保健福祉領域に興味関心を持って、様々な情報にアクセスし視野を広げること。これまでの社会福祉や精神保健福祉関連項目について、復習してください。 ・精神保健福祉の歴史に関する基盤を学ぶ科目です。 ・わからない用語について自分で調べるなどの予習を行ってください。

